

（件名）中国の主要な農・水産品について

国土が広大な中国は農業や水産業が盛んで、特に水産物の生産量は世界の約4割を占め、35年連続で世界第1位になるなど、圧倒的なシェアを誇ります。

今回のレポートでは、中国の主要な農・水産品や、それらの輸出先についてご紹介したいと思います。



中国内スーパーの野菜売場

● 中国で生産される主要な農・水産品について**<農産品>**

生産量が多い順に、とうもろこし（2億7千万ト）、コメ（2億ト）、小麦（1億3千万ト）、さとうきび（1億ト）、じゃがいも（9千万ト）です。（2024年10月、農林水産省データより）

日本のコメの生産量が1千万トですので、その量の多さを想像いただけるのではないのでしょうか。

<水産品>

総生産量が7千万トンを超えるうち、養殖生産高が約8割を占めます。養殖のうち、魚類が51%、貝類が29%、甲殻類が13%です。（2024年7月、中国水産流通与加工協会データより）

● 中国からの輸出先国・日本への輸出状況について**<農産品>**

日本、韓国、アメリカ、ASEAN、EUなど多くの国に輸出され、日本のスーパーでもよく見かけるニンニクは、野菜輸出総額の約2割を占め、世界中から注目を集めているそうです。

<水産品>

輸出先トップ5は、日本、アメリカ、韓国、マレーシア、タイ。特に日本は輸出額の約1割を占める重要な輸出先国です。（2024.2月、中国食品土畜进出口商会データより）

農林水産省のデータによると、中国から日本へ輸出される農・水産物の上位5品目は、冷凍野菜、鶏肉調整品、大豆・油粕（調整飼料用）、うなぎ（調製品）、生鮮野菜（たまねぎ等）となっています。

（件名）上海市内で道産品をPR！ 道内化粧品メーカーによるメイクアップ実演も。

上海市内の商業施設において、道産品をPRするイベントが開催されました。今回のイベントは、越境ECサイトを通じて販路拡大に取り組む道内事業者の皆さんを応援することを目的に、中国の方に実際に商品に触れて品質の良さを体験してもらい、ECサイトでの購入を促すために実施された北海道庁の事業です。

期間：1月17日（金）～19日（日）3日間

会場：上海金虹橋商場「北海道好物市集」

主催：北海道（事業受託：（株）ニトリパブリック、（株）北海道開発グループ）

商品：日本酒、菓子等の食品25品目、化粧品等18品目 合計43品目



イベント会場の様子

イベントでは、道産食品の試食試飲のほか、北海道の化粧品メーカー代表によるメイクアップの実演が行われ、丁寧な商品説明と品質の良さを体験したお客様がECサイトから商品を購入する様子が見られました。

イベントに参加した道内事業者は、「実際に中国のお客様の声を聞くことができ、今後のビジネス展開のイメージを掴めた。中国に足を運んだ収穫は大きいと感じた。」と話していました。

当事務所では、今後も道内企業の皆様に中国市場を理解する機会を提供できるよう、道庁と連携をしながら情報収集・情報発信に努めて参ります。



道内化粧品メーカー代表によるメイクの実演